

海外フィールド実習派遣実施要項

1. 国際的に活躍できる人材の育成のために海外フィールド実習派遣旅費を設定する。
2. 海外フィールド実習派遣旅費は、環境生命農学分野におけるフィールド研究を行っている学生をアジア地域の姉妹校（ベトナム・カントー大学、インドネシア・ボゴール農科大学、タイ・チュラロンコン大学、その他）等に7月から1月末日までの間の2週間派遣し、現場での実習を通して、国際的視点から博士研究を遂行させる。
3. 海外フィールド実習派遣旅費には、連合農学研究科の独自の経費をもって充当する。
4. 学生の支給する派遣旅費の上限は、30万円とする。
（ただし、大学の事情により、減額される場合がある）
5. 派遣は、在学中1回を限度とし、選考の際の優先順位は2年次・1年次・3年次の順とする。また、派遣旅費が他団体等から支給される場合は、本旅費を申請することは出来ない。
6. 派遣先は主指導教員と予め調整し決定の上、先方の「INVITATION LETTER」を添付する。
7. 海外フィールド実習派遣を希望する学生は、「海外フィールド実習派遣申請書」によって、4月の所定の期日までに応募する。
8. 選考は、3号代議委員（研究科長補佐）及び4号代議委員から構成される選考委員会が行う。ただし、選考委員が指導教員となっている学生の選考については、当該選考委員は選考に参加できない。
9. 選考委員会は、応募学生について、別に定める選考基準に従って派遣候補者を選定し、候補者リストに順位を付して研究科長に答申する。
10. 研究科長は、代議委員会の議を経て、派遣者を決定する。なお、決定後に派遣者から辞退の申し出があった場合には、次点の候補者を繰り上げる。
11. 派遣が決定された学生は、派遣終了後1カ月以内に「海外フィールド実習派遣報告書」を主指導教員に提出し評価を受けなければならない。
報告書を受領した主指導教員はS.A.B.C.Dの評価を付し速やかに連合農学研究科長宛に提出する。
12. 原則として、海外短期集中コース派遣実績のない学生を優先する。

附則 この要項は、平成20年4月1日から施行する。

改正 この要項は、平成21年6月17日から改正する。

改正 この要項は、平成22年6月21日から改正する。

改正 この要項は、平成24年10月15日から改正する。

海外フィールド実習派遣選考基準

海外フィールド実習派遣旅費は、「海外フィールド実習派遣旅費申請書」の記載内容について、下記に従って選考する。

1. 派遣旅費候補者の順位は、応募者の「業績」評価、申請書内容に基づいて決定する。
2. 「業績」については、学生からの申告に従って下記の基準によって評点を決定する。ただし、その際には、「雑誌論文のコピーあるいは別刷り」、「学会の講演要旨」等、各業績に関して何らかの証拠書類が提出されていない者は、「業績」として勘定しない。また、「業績」には連合農学研究科入学以前の「業績」も含む。
3. 選考の際の優先順位は、申請の時点（4月）で2年次・1年次・3年次の順とする。

「申請書内容」に関する評価基準 50点

「業績」に関する評価基準

項目1：原著論文（応募学生が筆頭著者として学術雑誌・学会誌に発表した論文）

国際的な学術誌に掲載された論文	10点
国内の学術誌に掲載された英文論文	7点
国内の学術誌に掲載された和文論文	5点

項目1については、上限を20点とする。

項目2：著書（応募学生が筆頭著者の著書に限る）

単著	10点
共著	5点
分担執筆	3点

項目3：総説、解説等（応募学生が筆頭著者のものに限る）
5点

項目2.項目3の合計点上限を15点とする。

項目4：学会発表（応募学生が発表した講演に限る）

国際会議	5点
国内学会	3点

項目4については、上限を15点とする。

評価の算出：各候補者の業績に関する評点の総和を、各選考委員の当該候補者に対する評点とする。

平成 29 年度海外フィールド実習派遣申請書

携帯連絡先：

PC アドレス：

国 籍：

申請者氏名		入学年度	年 月
配置大学・専攻			
主指導教員氏名	印		
派遣先	<input type="checkbox"/> カントー大学 <input type="checkbox"/> チュラロンコン大学 <input type="checkbox"/> ボゴール農科大学 <input type="checkbox"/> その他 ()		
派遣日程	年 月 日 ~ 年 月 日		
注) 先方の INVITATION LETTER を添付のこと			
申請者の研究業績 (公表論文等の別刷および口頭発表の場合は講演要旨を添付すること)			

フィールド実習内容・方法（実習内容・方法について、具体的に記入して下さい）

添付資料も含め、正本1部、副本4部を提出すること。

受入先の INVITATION LETTER を添付すること。なお、受入先は、母国以外とする。

【提出方法の注意点】

研究業績については、項目毎に分けて古い物から年月日順に付番し、リストを作成して付番した添付資料をつけること。

日本語、英語以外の言語については、英訳、和訳を付けること。

○研究業績の添付資料

・学会発表等

学会名、開催日時、場所が表示されている該当学会のプログラムの写し
学会プログラム目次等に記載されている本人氏名をマーカーで色づけする
本人の発表内容（本人氏名をマーカーで色づけする）

・添付資料は、全て、A4に統一すること。

○インパクトファクター数値について

・ジャーナル毎にインパクトファクターが確認できる資料を用意すること。